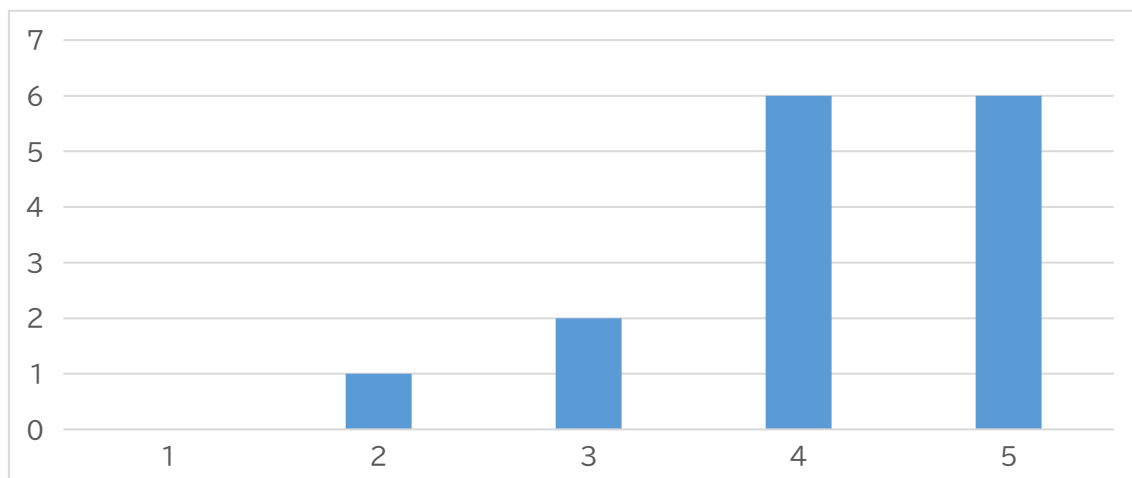


Q1:学生ボランティアスタッフの全体的な満足度を教えてください。

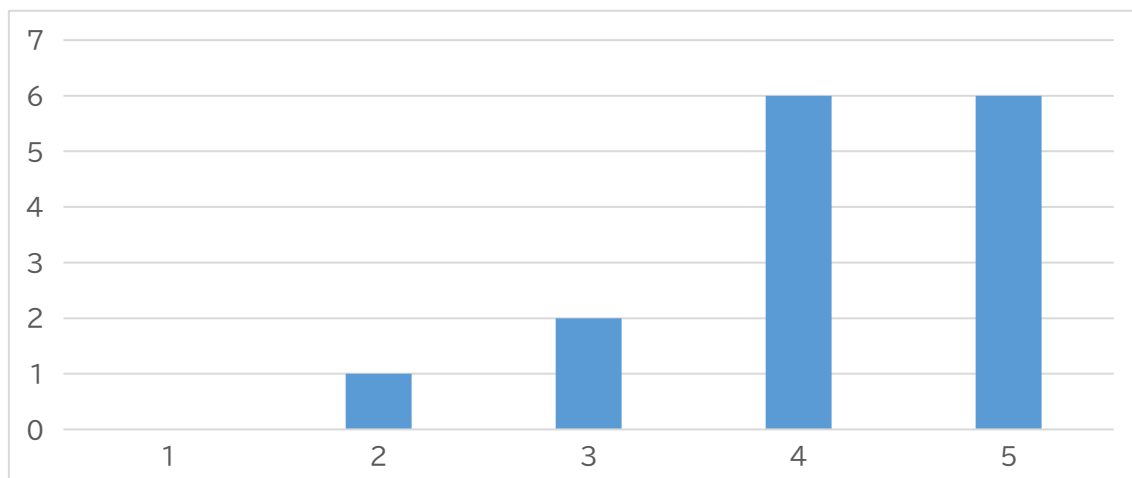


※ 1:全く満足できなかった／2:あまり満足できなかった／3:どちらともいえない／4:満足できた／5:とても満足できた

■記述

- 学生主体でやりたいことを進められる環境だったから。まちづくり関係者の方とお話する機会が多くあったから。
- 「イベントの企画を行い、実際にイベントを開催する」という今までにない経験ができたこと。
- 市のまちづくりに学生スタッフとして携わることができ、自身の学びにつながったと感じているため。
- 初めてイベントを企画から携われたから。
- 草津市役所の方々と一緒に動いたため、行政の難しさを学ぶことができた。
- 実験の条件設定から成果報告会まで班で結束してやり通せたことにやりがいを感じたから。
- 学生スタッフで他学年の子たちとまちづくりに取り組めたことに満足しました。やはり、同学年の似たコミュニティだと考えとかも似てくるので、来年度は他学部の子たちとも関わってまちづくりをしたいです。
- 企画として実際に実験や実施を経験できたのは大きい。その一方で学業との兼ね合いが難しかった。
- 行政の方や地域の方と関われる貴重な経験ができたため。
- 活動を行っていく中で初期の頃にあった願望や熱意がどんどん覚めてしまったため。
- やったことがないことに挑戦できた反面、やりたいことが多く、他のしてみたいことへの挑戦ができなかった。
- たのしかった
- まちづくりに興味がある学生と繋がれる機会があったり他班の活動から刺激を受けたりすることは楽しく感じたものの、班内での活動があまり活発にはできなかったため。
- 取り組む課題の設定から細かい手段、成果還元に至るまでスタッフが自由に決めることができ、「主体的にやっている」感が強かったため(しかし困ったときはすぐに相談もできた)
- 実際にイベントを行い、地域の人とも関わるのが出来たから

Q2:ゼミ選びや就活において活かせる経験ができましたか？

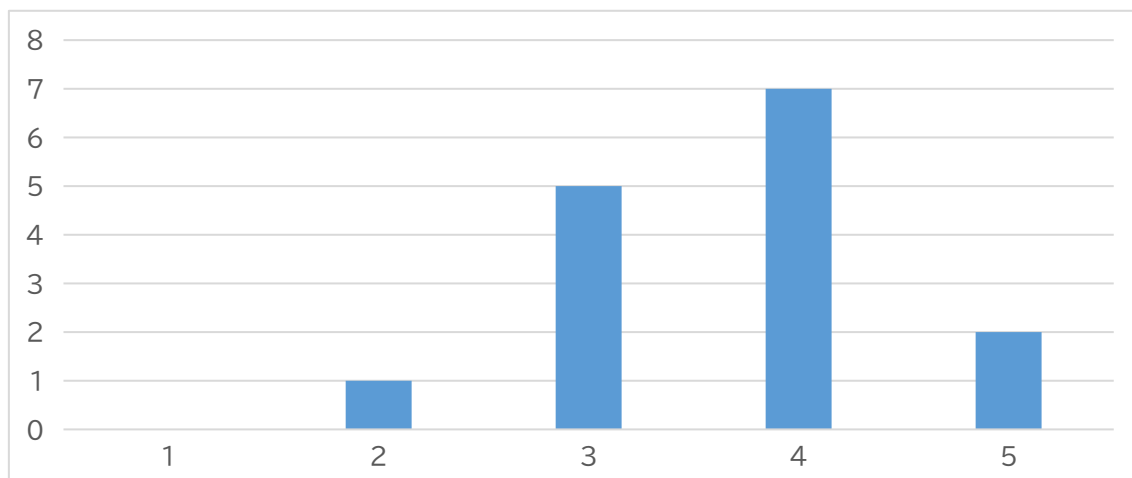


※ 1:全く思わない／2:あまり思わない／3:どちらともいえない／4:そう思う／5:とてもそう思う

■記述

- 将来やりたいことが明確ではなかったが、ボランティアを通じて将来やりたいことが固まったこと。また、企画書の書き方やパワーポイントの作成方法、成果報告会というたくさんの人々の前で発表するという経験ができたこと。
- UDCBK の活動は、私の希望する研究室の研究テーマと関連する部分があり、今後の研究内容を考える上で参考になったため。
- まちづくりに関しての視野が広がったから。
- UDC に携われるという点で、とても貴重な経験になった。
- 大学でまちづくりに関する知識を身につけ、それを活かす経験がこのスタッフの活動でできたから。
- 自主的にテーマを設定して、ゼロから取り組む難しさが主に学べたので、就活で話せそうだなと感じました。
- 学年的にゼミにも所属しており就活を終えているので意味をなさないため
- 就きたい業界や業種に関して、少し明確になってきたため。
- 思考段階で終わってしまったが、元となるデータや根拠から推測を行い、UDCBK をより良いものとする活動のプロセスに携わることが出来、この経験が修論等で役に立つと考えているため。
- できた
- もともと所属したい研究室は決めていたため。
- 参加メンツなどから、UDCBK と結び付きが強い研究室か否か(仲が良いか…)を判断できたため。
- イベントを行うのにおける懸念、疑問点逆に良い点などを客観的に理解することができたから

Q3:大学における学びを実践できましたか？



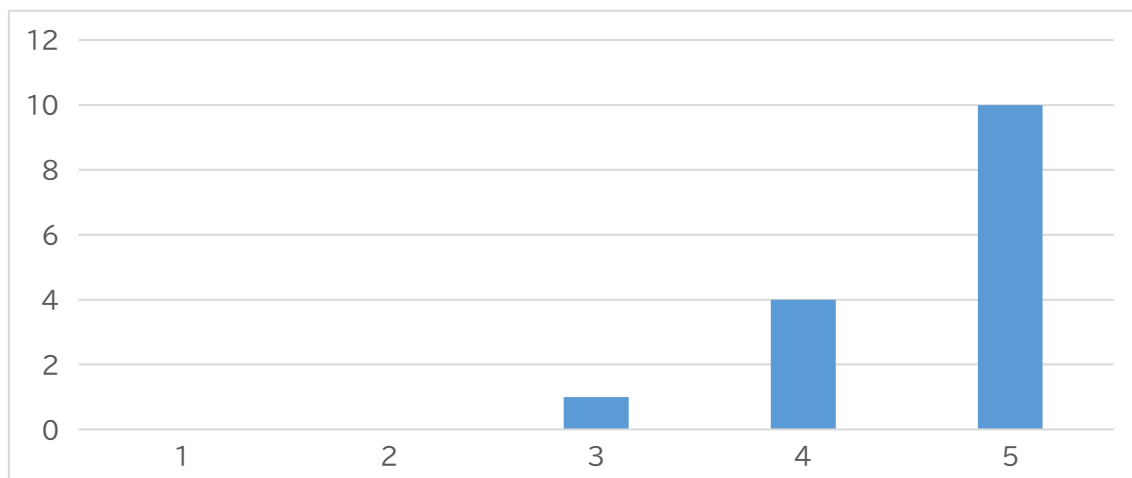
※ 1:全く思わない／2:あまり思わない／3:どちらともいえない／4:そう思う／5:とてもそう思う

■記述

- 実際に市民の方と交流することができたから。
- 1.2 回生で学んだことを生かすことはできなかったのですが、専門的に学ぶようになる 3.4 回生の時期に役立つのではないかと感じました。
- 私たちの班は、UDCBK を活性化させるための SNS 運営を主な活動としていたため、都市計画や、都市防災工学など、学校で学んだ専門的な知識を直接的に活用する機会はあまり多くなかったため。
- 今回は、大学での学びを最大限に活かすことが難しかったから。
- 目指していた実践の場に近づいたように思います。学部生の時に、まちづくりに携われるような環境を探していたのでもっと早くから学生スタッフがあればと思いました。
- 具体的ににぎわいの評価方法について是非を議論したり、得られたデータから客観的事実を得る際に大学の講義での知識が活かされたから。
- 駅前で何か取り組めた時点で大学外での学びが実践できたと感じました。
- 企画運営の難しさを学べた
- 1 回生や 2 回生で主に学んでいたことを活かせることができたため。
- どちらかと言うと普段学校では学ばない、地域連携やまちおこしといった活動だったため。
- 所属する班が今回情報発信に努めたことが
- まちづくり系統の授業を一切取ってなかった
- 大学で学んだことは今後活かしていきたいと思う。また、課外活動でおこなってきたことは活かせたと思う。
- 今年度に関してはどちらかと言うとスタッフワークや実験して初めて得た知見など、「座学では得られない学び」の方が多かったように思う。「大学における学び」を無理に考慮する必要のない活動だった可能性もある。次年度も「必要に応じて」自分が知っている研究・理論・先行事例などを参照する態度で良いと考えている。

- 都市計画でなかったイベントを行う上でのしがらみを理解することができたから

Q4: 学生ボランティアスタッフが「オフキャンパスの充実」に寄与すると思いますか？

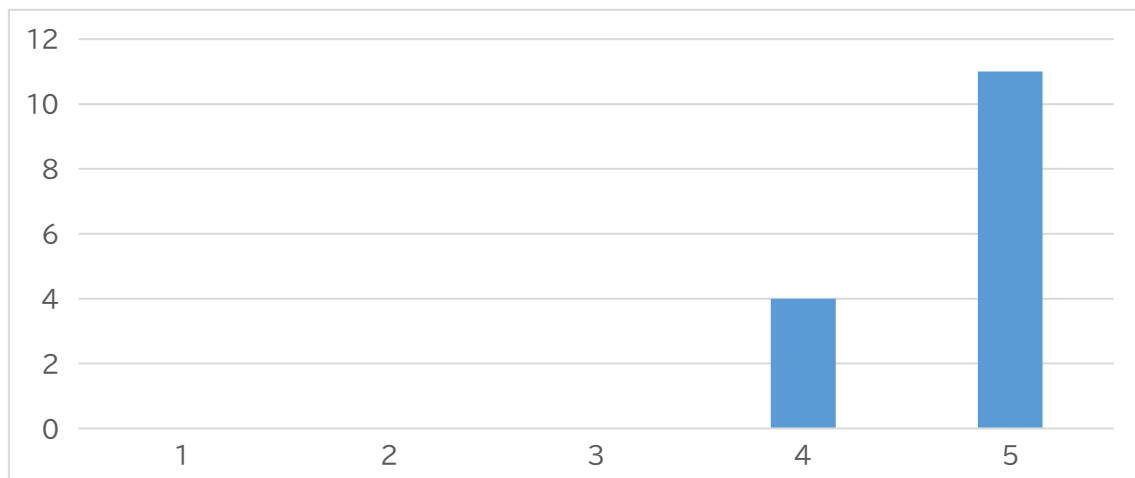


※ 1:全く思わない／2:あまり思わない／3:どちらともいえない／4:そう思う／5:とてもそう思う

■記述

- 自分たちがやりたいことを自主的に取り組むことができ、キャンパス内では体験することが出来ないことに取り組めるため。
- 学生ボランティアスタッフを通して、学生が地域社会と繋がり、新たな発見や学びを得る機会が増え、オフキャンパスの充実につながると考えるため。
- ある意味インターンのような場所なのでオフキャンパスの充実になると思います
- スタッフとして関わるのみならず、スタッフが開催するイベントに参加するだけでも大学生が南草津のにぎわい振興に参画できるため。
- サークルとはまた一味違った、実践的な取り組みであると感じたからです。
- 人によっては充分充実したものになると思う。学業が忙しい場合は中途半端になる恐れもあるのでバランスを鑑みる必要あり。
- 大学の授業やアルバイトではできない経験ができるため。
- 初年度と言うこともあり、既存のルートを辿ることが多い我々大学生がゼロから作り上げる学びの場となったため。
- 暇じゃなくなった、うれしい
- まちづくりに興味のある学生にとっては貴重な経験ができると思うから。
- キャンパスと比べて、志を同じくする・自分が打ち込みたい分野の仲間(=学生スタッフ・学外のまちづくり主体)と繋がる機会を得られるため。

Q5: 学生ボランティアスタッフが「大学生が活躍するフィールドの確保」に寄与すると思いますか？



※ 1:全く思わない／2:あまり思わない／3:どちらともいえない／4:そう思う／5:とてもそう思う

■記述

- まちづくりを大学よりも実践的で能動的に学ぶことができたから。
- 大学生の視点からみた考えや意見を取り入れることができるため大学生が活躍するフィールドになると思う。
- 学生ボランティアスタッフは、学生自身が企画・運営を行うため、既存の枠にとらわれない斬新な活動を生み出すことができる。これにより、新たな活動フィールドで活躍できる学生が生まれると考えるため。
- まちづくりの実践の場で、1,2 回生のうちから携わることができる。
- 実際に成果報告会という場で教授や他の主体の皆様を前にプレゼンテーションできる機会があり、学生が学外で活躍できる場所だと感じるから。
- まち協や都市マネスクールの受講生の方々と大学生が関わる機会があり、存在を認知してもらう取り組みが大学生が活躍するフィールドの確保に寄与していると感じました。
- サークルや学生団体とは違く、行政の一員として活動できるので、大きく寄与できていると思う。
- 主体性がどのフィールドでも可能だと考える。
- 教授の方や市役所の職員の方に自分の意見を伝える機会になるから。
- 様々な手段で「まちに貢献したい」「自分の視点を反映したい」と考えている学生がいるため、活動内容の自由度が高い学生スタッフはぴったりだと考えている。